



『こっちポーズお願いしますー!』

こっちも

「平たん最高でした!」

「どうぞ、これ
飲み物です」

「ありがとうございます
ございます!」

「めっちゃ喉
潤いでたんですよー!」

「撮影終了」

「撮影終わりでーす」

「ありがとうございましたー!」

「それにしてもこんな
集まりがあるなんて
初耳でした」

「撮影会…みたいなの?」

「あ、おいしい
ですねこれ!」

「なんのジュース
ですか?」

「それはですね」

「あれ…」

「なんだか頭が
ぼーっとして…」

「眠くなる
【お薬】ですよ」



「じゃあ平たんも
始めちゃおつか」

「ヌル女2性奴隷ルート」

「それって確か
ヌル女2で平たんが
男たちに輪姦される…」

「びっ!!」

「やだ…来るな…」

「びっ!!」

「嫌がる平たんのマンコに
僕のおチンチン
ぶち込んで立派な
性奴隷にして
あげるからね」

こいつマジだ!
本当に私を犯す
つもりだ…っ!!

「ひひひっ
ずっと待って
たんだよ」

「平たんとの子作り
セックスするのを!!」

「処女!!」

「ひひっ!!
なら余計に
やめるわけ
ないでしょ!!」

「平たんは
性奴隷なんだから」

「痛いッ!!」

五条君…助けて

「いやあああつ!!」

「ねッ!!」

助けてええッ!!

「でもすぐに
気持ちよくなって
周りの子と
同じように
アンアン喘ぐ
体になるさっ!!」

「はい、処女
しゅりよう」

私の…処女…

「やばう
超キツキツ!!」

「さすが新品のマスコ
は違うわあ…」

「ははっ、すっげー
痛そうにしてるw」

「そんなわけ…っ!!」

「あぁあっ!!」

「痛いッ!!」

「抜いてええッ!!」



「抜くわけない
で…しょ!!」

「ひっぎいっつ!!」

私の一番奥ガンガン
突いて来てるッ!!

痛い…ッ!!

激しいッ!!

「ひっぐ!!」

「やばい、もう
出そうです!!」

「ダメダメ!!」

「それだけは
ヤメテッ!!」

「さっき言ったでしょ
性奴隷ルートだって!」

「ゲームと同じように
嫌がる雫たんの
子宮を子種で
いっぱいにするんだ!!」

「えッ出るッ!!」

それってまさか!!

アソコが壊れる…ッ

「ああ、出る
射精するよおっ!!」
「ださないでええッ!!」



「熱いっ!!」

「子宮の中に
精液がでてるうッ...ッ!!」





「最後はこいつで…」

「スル女2性奴隷ルート
性奴隷(平たん)完成!」

『これこそホントの
性奴隷(平たん)って
感じですよー!』

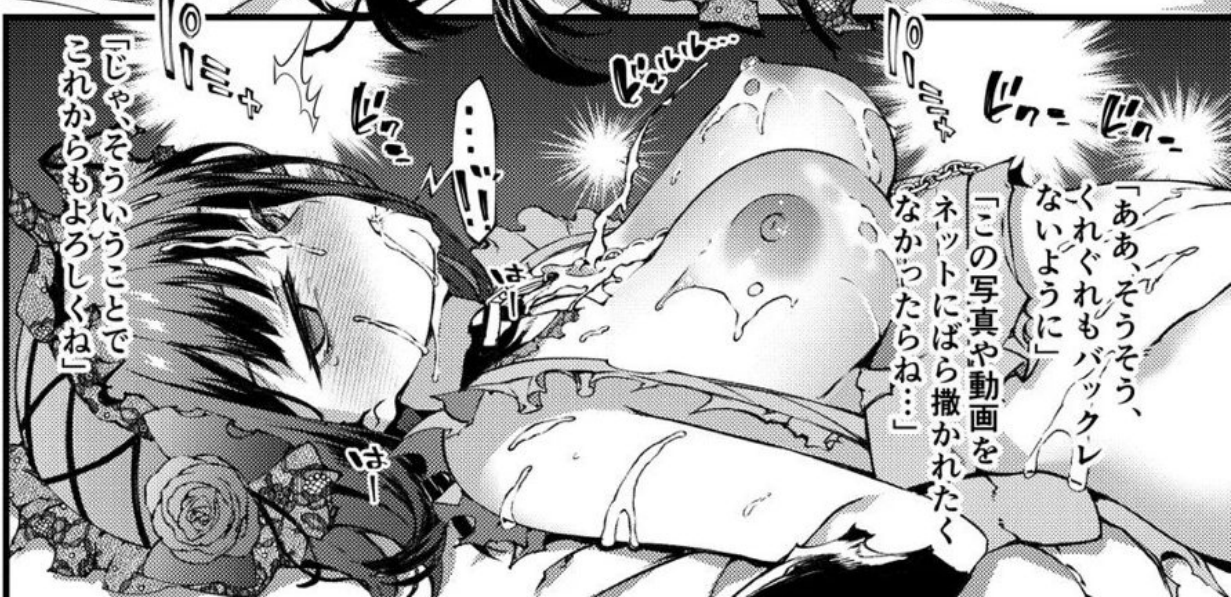
「美味そうに加えてる
バイブからザーメン
漏れてるのエロすぎだろ」

「また今度撮影会するから
その時は別の
衣装持ってきてよ」



「喜多川海夢」ちゃん!」

「……じょ……君……」



「ああ、そうそう、
くれぐれもバックレ
ないように」
「この写真や動画を
ネットにばら撒かれたく
なかったらね…」

「じゃ、そういうことで
これからよろしくね」